



東アジアに忍びよる新興感染症 ークリミア・コンゴ出血熱ー

致死率の高いウイルス性出血熱のひとつであるクリミア・コンゴ出血熱は家畜やダニから人に感染する。本講座では、実際の流行地の現状や背景を含めて解説する。また近年、クリミア・コンゴ出血熱の原因ウイルスと同様に分類される新規ウイルスによるウイルス性出血熱（重症血小板減少症候群ウイルス感染症）が中国で発見された。この新たな感染症についても紹介していく。



講師：**西條 政幸** 国立感染症研究所ウイルス第一部長
旭川医科大学大学院修了（医学博士）後、旭川医科大学
付属病院小児科、JICA ザンビア感染症対策専門家などを
経て現職。

専門領域：ウイルス性出血熱、抗ウイルス薬、
新興・再興ウイルス感染症、神経ウイルス感染症

日時：平成25年1月11日（金）
午後7時～8時30分

会場：長崎市立図書館 新興善メモリアルホール
〒850-0032 長崎市興善町1-1 TEL095-829-4946

入場
無料

事前申込みは
不要です

